

怒るサル、

拗ねるウマ、

悩むワタシ。

動物心理学の挑戦



話し手

瀧本 彩加 (たきもとあやか) さん

北海道大学大学院文学研究科
行動システム科学講座 准教授
〔比較認知科学〕



2016年7月16日(土) 15:00～16:30

会場 紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55 ビル インナーガーデン

定員 約100名 参加費無料、事前予約不要。

当日直接会場にお越しください。

主催 北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会

連絡先 北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

TEL: 011-706-4083 E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>

第18回 北大人文学カフェ

怒るサル、拗ねるウマ、悩むワタシ。

動物心理学の挑戦

私たちヒトは幼いころから不公平に敏感です。思い出してみてください。お手伝いをしてご褒美をもらうとき、自分の取り分がきょうだいよりも不当に少なければ、怒ってふくれっ面になったことは1度や2度ではなかったはずです。フサオマキザルもそんな不公平に対して怒ります。ウマは拗ねてしまいます。でも、ヒトを含む動物は、イライラするだけでなく、優しいところも持ち合わせています。悲しんでいる仲間を慰めたり、食べ物を分け合ったり、いじめっ子から仲間を守ったり……。では、こころのヒトらしさとは何なのでしょう？

ヒトを含む動物のこころを科学的に解き明かそうとする学問、それが動物心理学です。今回は、試行錯誤しながら取り組まれてきた瀧本先生ご自身の研究エピソードを交えつつ、動物が他者とかわる中で育んできたこころの機微を紹介していきます。みなさんも、ヒトらしいこころについて、瀧本先生と考えてみませんか。



《話し手のプロフィール》

瀧本 彩加（たきもとあやか）さん

北海道大学大学院文学研究科 行動システム科学講座 准教授
〔比較認知科学〕

1984年和歌山県生まれ。京都大学文学部卒、京都大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程修了。博士（文学）。東京大学大学院総合文化研究科に日本学術振興会特別研究員(PD)として3年間在籍後、2015年4月より現職。専門は動物心理学。主要業績には、「フサオマキザルの豊かな知性と感情」（中川尚史・友永雅己・山極寿一（編）『日本のサル学のあした—霊長類研究という「人間学」の可能性』京都通信社 収録）、「霊長類の利他行動—協力社会を生みだすこころの進化」（山岸俊男・亀田達也（編）『岩波講座 コミュニケーションの認知科学 第4巻 社会のなかの共存』岩波書店 収録）など。その他、日本人間行動進化学会における若手発表賞の3度の受賞など。

《北大人文学カフェとは》

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

《お問い合わせ先》

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

TEL: 011-706-4083

E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

人文学カフェウェブサイト

<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>